科目名 (科目コード)	生物学【0018】	配当年次	1	担当 教員	福井康雄	対象 区分			
		単位数	2						
授業の ねらい	わたしたち人間は生物の一種であり、そのからだのしくみやさまざまな生命活動には、他の生物と共通の特徴がある。また、わたしたち人間は地球生態系の一員でもあり、他の多くの生物と関係を持ちながら、ともに生きている。したがって、生物学の学習をとおして、そうした人間への理解、生物の世界への理解を深めてもらいたい。								
授業の 計　画	第 1 回：生物は物質からできている 水、糖質、脂質、タンパク質、核酸などの重要な物質について学習する。 第 2 回：生命の基本構造 生命の基本単位である細胞の構造と機能について学習する。 第 3 回：生命活動は化学反応（1） 化学反応を調節している酵素や、エネルギーを取り出す呼吸のしくみについて学ぶ。 第 4 回：生命活動は化学反応（2） 光合成のしくみや、窒素の取り込みや排出について学ぶ。 第 5 回：遺伝子 遺伝子の本体であるDNAの基本について学習する。 第 6 回：細胞から個体へ（1） 細胞分裂や、生殖細胞、細胞間相互作用、初期発生について学ぶ。 第 7 回：細胞から個体へ（2） 個体発生のしくみについて学ぶ。 第 8 回：遺伝子の損傷と修復 遺伝子の損傷や修復と、わたしたちの健康との関わりについて学習する。 第 9 回：遺伝子操作 遺伝子操作の方法や、この技術の利用や問題について学ぶ。 第10回：体の代謝の維持と活動の調節（1） ホルモンや自律神経による体内の環境の調節について学習する。 第11回：体の代謝の維持と活動の調節（2） 神経系と運動のしくみや、体全体の調節について学ぶ。 第12回：生体防御 免疫などの生体防御のしくみについて学習する。 第13回：生物の多様性と進化（1） 多様な生物の世界と、それを生み出した進化について学習する。 第14回：生物の多様性と進化（2） 進化が起こるしくみについて学習する。 第15回：人間と環境 物質の循環している生態系と、人類にとっての環境問題について学ぶ。								
教科書	「新版　生物学と人間」 裳華房　赤坂甲治編（2010 年）								
持参物									
評価方法	学生に対する評価 リポートならびにテストにより評価する。								